

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援下さる皆様への近況報告、

絃友会便りをお届けします。 2008.12.4 (No.74)

発行・絃友会事務局 新谷真由美 <http://www.genyukai.com>

かわさき人権フェア 2008



人権とは誰もが、年齢・性別・人種などにかかわらず、生まれながらに持つ侵すことのできない権利。

川崎市が、市民や関係機関などと協力して多くの人に人権の大切さを伝え、さまざまな人権問題を考えてもらうために行っている「川崎人権フェア」。

著名人のメッセージパネルや市内小中学生の人権ポスター・作文の展示や市民団体の演奏など内容は盛りだくさんです。

(川崎市政だよりを参照しました。)

でも私たちは音合わせや支度のため毎年ゆっくり鑑賞できないので・・・残念です。

踊みクワディサー節にのせて・・・しつとりと四つ竹踊り



踊り手は、平良豊子沖縄舞踊研究所所属のアイナさんとマサコさん。

地謡メンバーには、折よく来日した北カリフォルニア支部長のウエスリーさんも急遽参加し、いつもと違う風が漂っていました。



絃友会エイサー

時代の流れにあわせ変わっていくのも芸能文化かもしれませんが、エイサーの起源を探りそれを守り伝える者がいてもいいかもしれません。

(例年会場があまりにも暑いので今年は衣装を変えてしまいましたが、本来はバサーやクンジーの着流しです。)

絃友会では、古くから伝わる自然や神に感謝する曲にのせパーランクーや手踊りで先祖の霊を送ったという沖縄民俗芸能エイサーとその心を、次の時代を担う子供たちと共に伝え続けていきたいと願っています。エイサーに参加し歌・三絃に親しんだ子供たちが小さい指を操るように三絃を奏で、ウチナーグチで歌う姿のほほえましいこと・・・今年も楽しい一年でした。



さんしんの日まで、あと90日。 来年も宜しくお願いします!!!